

学校から地域へ出て行き  
地域と連携し  
地域づくりに参画する



茅野市小中一貫校

令和5年3月30日

茅野市立東部中学校

## 学校教育目標

豊かな人間性と  
創造性を培う教育  
開拓 敬愛 連帯 感動

子ども達は、日々様々なことに一生懸命取り組み、地域の方のお支えもいただき、お陰様で、素直に健やかに成長をしてきていると感じています。

## これまでの地域連携の活動

これまでの地域と連携した活動について紹介をします。3年前、コロナ禍以前の活動です。「マスクなし」「近い距離」で、当たり前活動ができていました。

### コロナ禍前



あいさつ運動

### コロナ禍前



読み聞かせ

### コロナ禍前



小泉山開山祭

### コロナ禍前



笑顔満開プロジェクト

### コロナ禍前



ケヤキフェス 参加

コロナ禍以前は、地域と学校が共に活動を行う、地域の方に支えていただくということが目に見える形で、近い距離で、共に行っていました。

コロナ禍により、その様な活動の形態は実施することが難しい状態となってしまいました。

人と人が近い距離で交流する活動はできなくなり、中止となる行事や企画が多くありました。

しかし

その様な「コロナ禍」による様々な制限がある中で、

子ども達は、あきらめるのではなく、何ができるか、どうしたらできるか、を模索しました。

そして、そのような子ども達をコミュニティスクールの方々がしっかりと支えてくださいました。

今年度



家庭科部(部活動)による七夕飾りプレゼント

今年度



生徒会による地域の保育園へのマリーゴールド配付

今年度



コミュニティスクールの方による発信

今年度



宅配おせちへの協力(ぬくもりレター)

今年度



総合的な学習 職場体験学習

今年度



あいさつ活動

こうした活動を通して、  
子ども達の

「地域とつながりたい」  
「自分たちにできることがある」

「地域づくりをしていきたい」

という思いの強さを  
改めて強く感じました。

そうして見えてきた今後の方向

中学生にもできることがある



中学生にこそできることがある

中学生は もちろん未熟な面はあるけれども

地域づくりの立派な担い手の一員

これまでの活動を大切に継続しつつ

- ① 東部中学校の一人一人が
- ② 地域の方へ働きかけ
- ③ <未来へ> 継続する目標を持った活動

上記3点を柱とした  
新たな活動の可能性を探っていきます。

一例として

「福祉活動」「継続的なまちづくり」

の視点より

- ・子ども達への防災教育を通した  
各家庭 地域の防災意識涵養
- ・災害時の地域の方々の心のケア
- ・復興に向けての協力

新年度は、

「知ること」「見つけること」から  
取り組みを始めます。

大学の先生、中央病院の方からも  
協力をいただきつつ  
学校主体でもなく、地域主体でもなく、  
コミュニティ・スクール  
としての取り組みであることを大切に進め  
て参ります。

コロナ禍の三年間は、  
様々なことが制限をされた期間では  
ありましたが、

子ども達がそのことによって  
後退をしてしまったとは感じません。

むしろ、それは、  
次へと進むための  
力をためるための時間であり、  
子ども達は今後も、  
力強く前進をし続けていくと感じています。

持続可能な仕組みの中で、  
子ども達が  
どのような繋がりを持ち  
どのような学びをしていくのか  
楽しみです。

今後ともご協力をお願いします